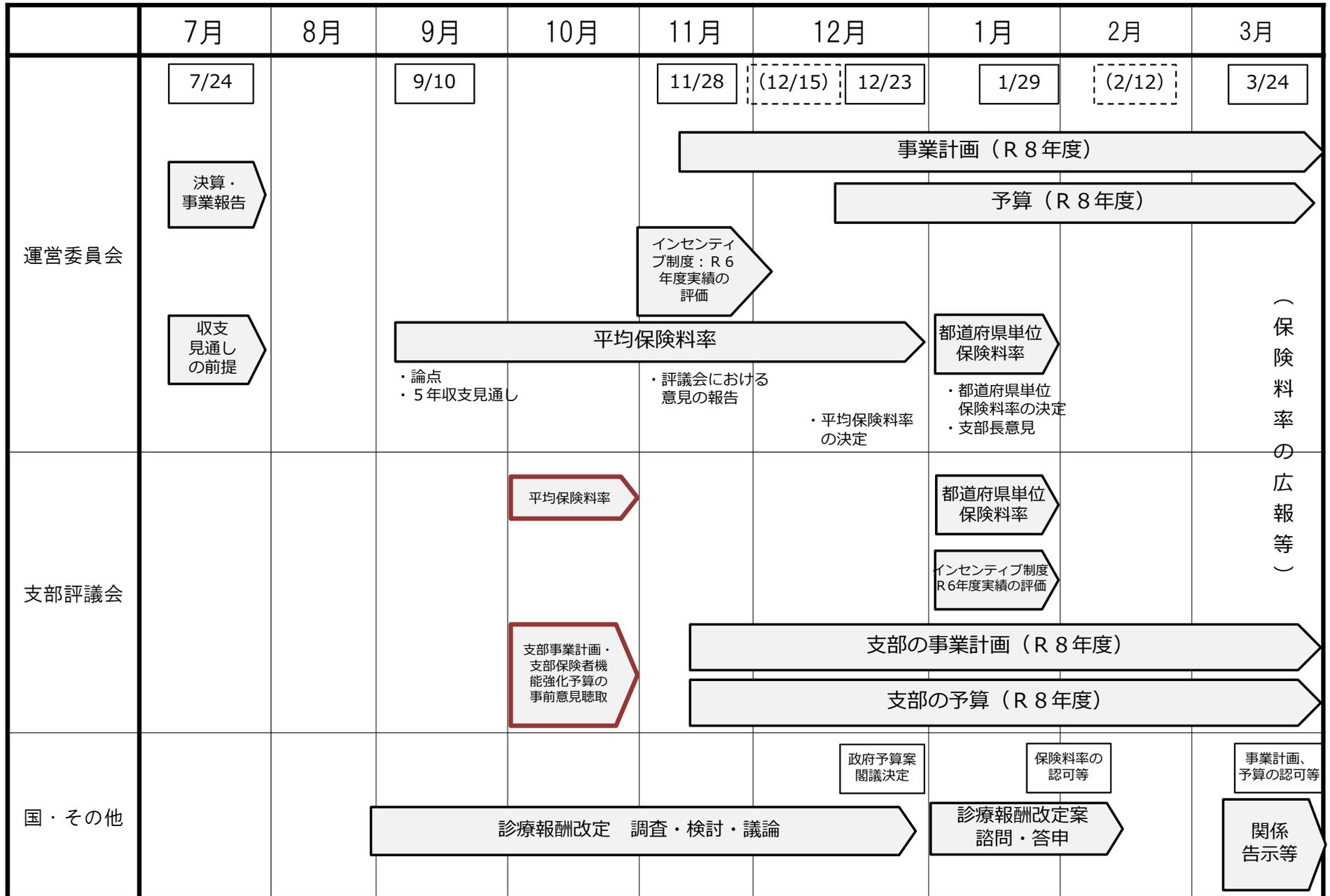


令和8年度 秋田支部事業計画及び 保険者機能強化予算策定に向けた意見交換について

令和7年度 運営委員会・支部評議会のスケジュール



令和8年度 支部事業計画の検討について

【趣旨】

- 秋田支部のデータに基づく現状評価を踏まえた健康課題や重点施策をもとに当該課題の解決に向け現在の素案をお示しし、評議員の皆様のご意見をお伺いいたします。
- 令和8年度の秋田支部の取組については、令和7年度の取組をベースとしつつ、新規事業、継続事業の見直しを行っています。
- 本日いただくご意見と今後協会けんぽ本部より示される予算額を踏まえ、秋田支部の令和8年度保険者機能強化に向けた事業計画と予算案を策定し、来年1月に開催する評議会でご審議いただく予定としています。

評議員の皆さまのご意見を十分に踏まえた効果的な事業を展開したいことから、「事業主」・「被保険者」・「学識経験者」それぞれのお立場から、

- ① **次年度も継続を予定している取組について、改善等が必要と考えられる事項**
- ② **支部の課題解決に繋がると考えられる新たな取組に関する事項**

を中心に意見交換をお願いします。

(参考) 令和7年度 秋田支部事業計画 (戦略的保険者機能)

1 データ分析に基づく事業実施

- 医療費、健診データ等の分析結果の活用及び分析能力の向上
(地域差や時系列、他支部と比較した秋田県の特徴や傾向を分析)
- 秋田大学等外部有識者を活用した調査研究の実施

3 医療費適正化

- ジェネリック医薬品の使用促進(厚生局や医師会及び薬剤師会との連携)
- バイオシミラーの使用促進
- 値域の医療提供体制等へのデータを活用した意見発信
(地域医療構想会議や健康づくり、医療費適正化に関する県の会議にて
分析結果等を意見発信)
- インセンティブ制度事業への活用

2 健康づくり

第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づく取組

- 健診受診率向上の取組み
(新規健診実施機関の活用や各種団体との連携 等)
- 特定保健指導実施率向上の取組み(健診当日の初回面談 等)
- 重症化予防事業の推進(未治療者への受診勧奨 等)
- コラボヘルスの推進(健康経営宣言事業、関係団体との連携 等)

4 広報活動や「顔の見える地域ネットワーク」を通じた加入者等の理解促進

- 支部広報計画に基づく広報活動の推進
(多様な広報手段を用い、地域や職域の特性を踏まえた広報の実施)
- 秋田県や関係機関に最新の医療費データ等を用いて現状を説明し、
課題解決に向けた連携を図る
- 健康保険委員の委嘱拡大に係る取組(社会保険委員研修会等の参加や広
報誌の作成)

◎ 生活習慣病予防健診実施率の伸び悩み

- ・ 施設型の健診実施機関受け入れ枠が少なく、実施件数が伸び悩んでいる
- ・ 健診項目の少ない事業者健診結果データの取得で健診実施率を補う構造になっているため、加入者の詳細な健康課題が把握できていない

◎ 血圧のリスク因子保有率が全国平均を上回る

- ・ 血圧は男性で6割以上、女性で4割以上の方がリスク因子保有者である
- ・ 血圧リスクの業態別リスク因子保有率は「総合工事業」「社会保険・社会福祉・介護事業」において高い
- ・ 市町村別では、鹿角市・男鹿市・大館市・小坂町・上小阿仁村などの血圧リスクが高い

◎ 新生物に係る医療費が入院・外来ともに高い

- ・ 「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が大きい
- ・ 「胃の悪性新生物」は1人当たり医療費が全国平均を大きく上回る
- ・ 秋田県の塩分摂取量は全国平均を上回る（国民健康・栄養調査H28）

課題解決の柱となる重点項目

1 健 診

2 特定保健指導

3 重症化予防・未治療者への受診勧奨

4 コラボヘルス

1.健 診

現状

- ・ 施設型健診機関の受け入れ枠が縮小しており、予約が取れず受診ができない
- ・ 生活習慣病予防健診受診率は全国平均を下回る
(生活習慣病予防健診実施率 令和6年度 全国平均58.4% 秋田支部53.2% 全国38位)
- ・ 生活習慣病予防健診で胃検査未実施が多い医療機関がある
- ・ 人間ドック対応が望める医療機関が限定的である

令和8年度の方角性や事業予定

- ・ 健診機会の拡大(集合健診や検診車) 【継続】
 - 検診車のイメージアップに向けたプロモーション動画を用いた広報
- ・ 施設型健診機関への実施枠拡大依頼、健診実施機関の新規開拓 【継続】
 - 胃の検査や人間ドックを実施できるよう医療機関と交渉を続ける。
- ・ 健康経営宣言事業所へ訴求する新しい切り口の健診実施 【検討】
 - 顧客利便性を高めるような健診を実施する。(事業所や関係団体、医療機関に聞き取りを実施)

1.健 診

令和7年度実施事業

検診車による集合健診実施件数の拡大	年間を通し、県北・県央・県南のすべての地域において、検診車による集合健診を実施
健診機関への実施枠拡大依頼	健診実施数等の資料を基に実施枠の拡大を依頼
健診実施機関の新規開拓	秋田市内のクリニック等を中心に健診実施機関拡大に向け健診機関と交渉
生活習慣病予防健診及び特定健診の支部独自案内	生活習慣病予防健診等の案内を一斉発送する際に、県内独自の事情周知や、健診情報を効果的に発信するための支部独自印刷物を同封
市町村集団健診への受診勧奨	協定を締結している大仙市との共同事業として、公民館等で実施している大仙市の集団健診について、ダイレクトメールを送付
被扶養者に対する協会けんぽ主催の無料集団健診	被扶養者を対象に、地域の公共施設や商業施設で無料の集合型健診を開催し、対象者宛に直接ダイレクトメールを送付
40歳到達の女性被扶養者に対する健診受診勧奨	40歳に到達する女性被扶養者に対し、特定健診・がん検診の受診勧奨
特定健診未受診者に対する受診勧奨	特定健診未受診者に受診勧奨にかかるダイレクトメールを送付
【特別枠】 集団健診や検診車の積極的広報	健診案内DMや利便性のよい健診会場の確保、検診車のイメージアップを目指し、検診車のプロモーション動画を作成。YouTubeやデジタルサイネージを用いた展開を実施

2.特定保健指導

現状

- ・ 健診当日に保健指導を実施できる医療機関が少ない
- ・ 加入者、事業主共に保健指導の必要性等理解が得られていない
- ・ 保健指導の中断率が高い

令和8年度の方針や事業予定

- ・ 健診当日の保健指導を積極的に推進する。【継続】
- ・ 保健指導の重要性を理解してもらえそうな資材を作成。【検討】
→保健指導の実施率、対象者の減少率が保険料率の軽減につながることを絡めた広報資材（インセンティブ制度など）を作成し、事業主に説明、配布する。
- ・ 保健指導を受け入れやすい環境を構築【検討】
→業界団体や経営層へ保健指導の重要性を丁寧に説明する。

令和7年度実施事業

委託業者からの保健指導の実施	保健指導専門業者からメール・手紙・電話等の方法を選択した保健指導の実施
支部保健師スキル向上に向けた研修会の実施	中断率減少に向け支部保健師のスキル向上のため研修会を定期的の実施
保健指導パンフレットの作成	保健指導の実施先掲載したチラシを年度初めの案内に同封

3.重症化予防・未治療者への受診勧奨

現状

- ・対象者の健康に関する意識が低く、勧奨後の受診率が低い
- ・経営層の再受診に関する理解が不十分

令和8年度の方向性や事業予定

- ・委託業者や医療機関、協会けんぽ保健師を通じた受診勧奨【継続】
 - 委託業者から対象者全員に文書勧奨、重症域の方には電話勧奨
 - 血圧が要治療域以上の方に受診勧奨及び高血圧予防のリーフレットを配布
 - 保健指導時に「要治療域」「重症域」の方へ受診勧奨
- ・経営層へのアプローチ【継続】
 - 従業員の医療機関受診への理解が得られるよう依頼文書を送付
 - 生活習慣病予防健診の案内などに受診勧奨チラシを同封

令和7年度実施事業

委託業者・健診機関・支部保健師を通じた受診勧奨	委託業者から受診勧奨対象者の方へ、文書勧奨・電話勧奨を実施 健診受診時に、血圧値が要治療域以上の方に高血圧予防のリーフレット配布 保健指導実施の際に、要治療域以上の方に受診勧奨を実施
事業主への受診勧奨	従業員の医療機関受診を促すため依頼文書送付 受診勧奨に関する案内文書作成し年度初めの健診案内に同封

4. コラボヘルス

現状

- ・生活習慣病リスク因子保有率が高い（血圧、脂質、メタボリックは全国でも例年上位）
- ・運動習慣要改善者の割合が全国でも上位（特に女性の運動習慣要改善者は全体の約8割が該当）
- ・健康経営宣言をしたことによる具体的なメリットがわからない。

令和8年度の方角性や事業予定

- ・減塩対策、受動喫煙防止、子ども教育、メンタルヘルスに関する事業を実施【継続】
- ・生活習慣病リスク因子保有率が高い運輸業への改善事業【継続】
- ・各種リスクを改善するため、運動を促すような事業を実施【継続】
- ・加入者や業界団体の意見を吸い上げ、ニーズに応じたフォローアップを実施【検討】
- ・未締結自治体との新規連携協定。また、既存の協定締結自治体との活動の見直し【継続】

4. コラボヘルス

令和7年度実施事業

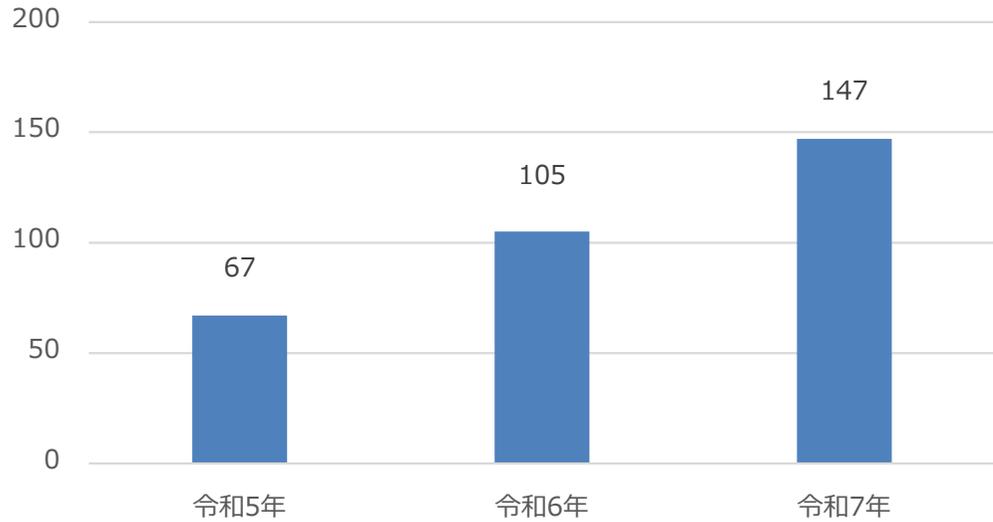
健康経営宣言事業所の拡大と取組支援	未宣言事業所や基本モデルへの未移行事業所に勧奨文書を送付
運動に関する動画配信	動画配信を通じ、運動のきっかけづくりを実施
インセンティブ制度の周知	保険料を下げるには事業主・加入者の協力が不可欠であることを収支差等を用いて説明する文書を作成し、健康保険委員向けの広報誌に同封。HPやメールマガジンでも広報
秋田産業保健総合支援センターと連携したメンタルヘルス対策	R6.9.24に協定締結。各種セミナーの共同事業やメンタルヘルス治療と仕事の両立支援にかかる広報等を実施
秋田大学との共同研究	加入者の健康課題に関する共同研究。トラックドライバーに対する食習慣等にかかるアンケートを実施し、結果による効果検証
市町村集団健診への受診勧奨	協定を締結している大仙市との共同事業として、公民館等で実施している大仙市の集団健診について、ダイレクトメールを送付
運輸業団体と連携したコラボヘルス	健康リスクが高い運輸業に向けた広報誌や聖霊女子短期大学の学生に協力いただき、健康レシピを作成。ドライバー等に配布
【特別枠】 SNSを活用した減塩促進広報	減塩促進にかかるCMを作成し、オンラインTV「TVer」で放送。XやWEBバナーによる広報も実施
【特別枠】 業種を絞った禁煙意識調査	喫煙率が高い業種に意識調査を実施。アンケート結果を集計・分析し、対象者にフィードバック。設問等は医師会等に相談して作成

令和7年度上期

秋田支部取組状況

健診実施受入枠拡大のための取組

被保険者 集団健診実施回数推移

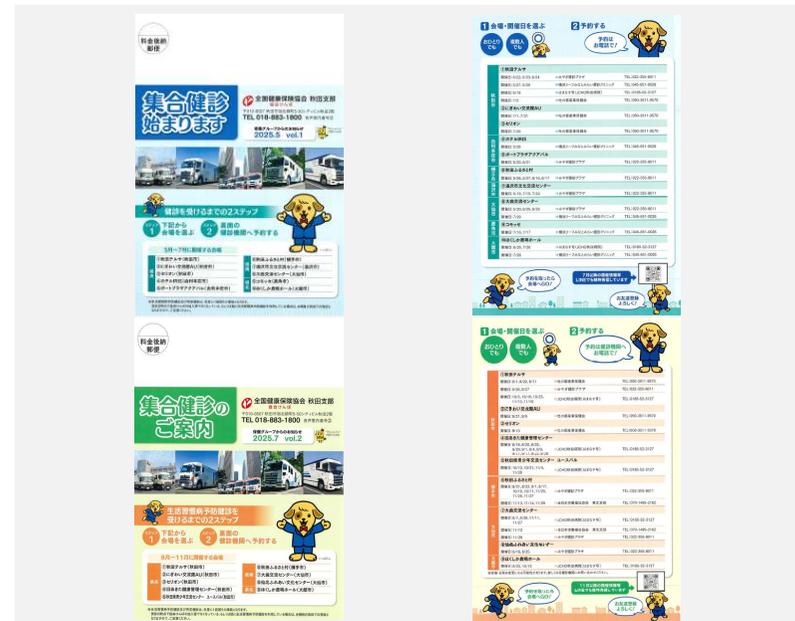


※147回は今年度末(R8.3)までの見込み回数。
8月末時点で63回実施（前年同月比+22）、受診者数2,064名（前年同月比+804）

検診車を保有する健診実施機関と協力し、昨年度以上に集団健診を実施予定。健診スケジュールは各種SNS(LINEなど)や広報誌などで積極的に発信し、現在作成している検診車動画を用いて、県内全域に普及させる。



▲健診受診方法と実施医療機関の案内文書



▲秋田支部HPに掲載している検診車による集合健診日程一覧

健診受診率向上に向けた事業

● 検診車動画

健診実施枠が足りず受診ができない・健診機関受入れ枠の縮小などの問題を解決するため、医療機関と相違ない環境で受診することができる検診車を広報する動画を作成し、秋田支部YouTubeや県内全域へデジタルサイネージを用いた広報を10月より実施する。

【動画イメージ】



【デジタルサイネージ広告場所】

秋田駅構内待合室・西武秋田店・秋田空港・大館能代空港など

● 子育て世代への健診受診勧奨

子育て世代への医療費適正化の周知を目的として、県内のファミリーレストラン（ガスト・バーミヤン）にてテーブル広告を実施。掲載期間は子どもの夏休みと被るよう8月～9月に実施した。



掲載したテーブル広告

生活習慣病リスク改善に関する事業

●減塩啓発にかかるTver広告

血圧、脂質リスク因子保有率が全国ワーストであることを周知し、減塩啓発を促すため、能代市や大館市、鹿角市といった血圧リスクが高い県北地域にTver広告を実施。

また、令和5年度に実施した塩分摂取量調査で判明した減塩への意識が低い20～30代に対して、Youtubeを利用したノンスキップブル広告を10月より実施する。



●運動啓発動画

運動習慣要改善者の割合が高く、とくに女性の約8割が運動習慣要改善者に該当するため、運動動画を作成し、加入者へ運動啓発を図る。「+10（プラステン）」をテーマとし、まずは1日10分の運動時間を増やすことから始めることを呼びかけた内容の動画を作成。9月より秋田支部公式YouTubeに掲載を開始した。

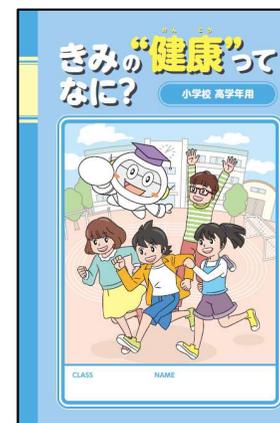


子ども健康教育に関する事業とコラボヘルス事業

● 子ども健康教育に関する冊子

秋田県は、味が濃い(塩分が強い)・冬に野外で運動することができないなど生活環境の影響により、生活習慣病リスク保有率が高い可能性があるため、学童期より健康啓発できるような資料を作成し、イベントや啓発活動の際に使用する。10月5日に開催された「子ども健康会議」にて資料を配布した。

健康冊子



子ども健康会議の様子



● 秋田県トラック協会と聖霊女子短期大学との共同事業

腹囲や血圧リスク因子保有者の割合が高い「運輸業」に対し、栄養士を目指す聖霊女子短期大学の学生が、「簡単、ヘルシー、美味しい」をコンセプトに、簡単に調理でき、栄養バランスに配慮した献立を作成。

10月5日に秋田県トラック協会が主催として開催された「トラックフェスタ」にてレシピ集を配布。当日の様子などは聖霊女子短期大学インスタグラムにて掲載されている。



簡単健康レシピ



受動喫煙防止事業

- 受動喫煙防止宣言施設登録制度 平成28年6月～
(秋田県・25市町村)

令和7年9月末現在 1,506事業所

- 世界禁煙デー街頭キャンペーン
実施日：令和7年5月29日
場 所：秋田駅 ぽぽろーど
主 催：秋田県、秋田県医師会、秋田・たばこ問題を考える会、協会けんぽ秋田支部ほか
- 世界禁煙デー秋田フォーラムの実施
実施日：令和7年6月1日
場 所：きらめき広場
主 催：秋田県、秋田県医師会、秋田・たばこ問題を考える会、協会けんぽ秋田支部
テーマ「あなたが主役 アプリで学ぶ タバコのリアル」 参加者83名



(世界禁煙デー街頭キャンペーンの様子)



(世界禁煙デーフォーラムの様子)